

いいまち

2025年10月15日

第112号

発行：長野県飯島町議会

議会だより

昭和伊南総合病院 建替え見直し

議会全員協議会で報告



町の蝶 ミヤマシジミに決まる

元地域おこし協力隊員のいま 中村俊二さん (P3)

町民の声を議会へ「地球人ネットワークinいいじま」(P24)

飯島町議会の情報を発信中！▶



YouTube

もくじ

P3

元地域おこし協力隊員のいま
中村俊二さん

P4～5

総務産業委員会
令和6年度決算調査、
令和7年度補正予算審査

P6～7

社会文教委員会
令和6年度決算調査、
令和7年度補正予算審査

P8

9月定例会 本会議
議会全員協議会

P9

本会議での表決結果

P10～20

一般質問

P21

中部伊那町村議会研修会
他研修会

P22

「まちびと政策プランナー」募集
自治会との懇談

P23

モニターのひとつこと

P24

町民の声を議会へ
地球人ネットワークinいいじま
議会だよりクイズ

ここが聞きたい

町政を問う

11 議員が質問

星 野 晃 伸 与田切川上流危機管理
国に、しつこいくらいに陳情を… P10

伊 藤 秀 明 高速バス停トイレ
快適で清潔なトイレの設置を …P11

吉 川 順 平 コメ増産
飯島町の考えは …………… P12

堀 内 学 消防団支援
実態に合わせた定数を …………… P13

荒川みずき 誰もが住みやすい町
町営住宅や空き家の活用を …… P14

宮 下 秀 和 多文化共生社会
外国籍住民への対応は …………… P15

池 上 明 町の魅力の発信
魅力を内外に発信する町づくりを… P16

浜 田 稔 太陽熱温水器
補助の充実で普及促進を … P17

坂本 紀子 AI(人工知能)と行政
チャットGPT利用のルールは… P18

折 山 誠 七久保診療所再開
荒れた建物からは再開の熱意が伝わらない … P19

三浦寿美子 松枯れ対策
実態に対して処理費用が不足では … P20

「一般質問」とは
行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

7月10日、与田切川上流に長野県企業局が建設中の越百のしずく発電所と、改修された与田切発電所を飯島町議会で視察しました。



越百のしずく発電所



与田切発電所



元地域おこし協力隊員のいま

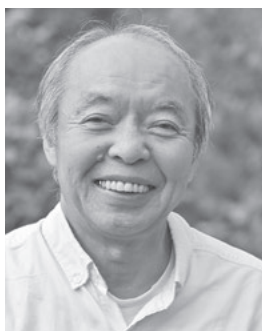
中村俊二さん

飯島町在住10年
地域おこし協力隊
2015年4月～2018年3月

問 おしゃれなログハウスにお住まいですね。

中村さん 自然や山が好きなので、定年後は長野県に住みたいと思い、何度も県内を訪れていました。

東西にアルプスが見える飯島町で、展望が良い中古のログハウスが見つかり、夫



婦とも一目で気に入りました。

問 自作で庭にサウナ小屋までも。

中村さん サウナ小屋、露天風呂、石窯、展望ベランダ、井戸など、DIYを楽しんでいます。



自作のサウナ小屋

問 地域おこし協力隊に応募されたきっかけは。

中村さん 42年間勤めた京都府宇治市役所を定年で辞め、移住後の仕事を探していました。移住する年に飯島町で当時珍しかった、地域おこし協力隊員の年齢制限なしの募集があり、これ



自作ベランダからの展望は絶景です

はチャンスと思い応募しました。

問 地域おこし協力隊員としてのお仕事は。

中村さん 飯島駅前にある「まちの駅いいちゃん」の管理と、まちなか活性化を目指すイベントや、様々な人の居場所づくりなどを、地域の人と一緒に行ってきました。

駅前の半年間にわたるイルミネーション点灯やドーム菊でまちなかを飾ったり、七夕・クリスマス・餅つきなどのイベントも開催しました。また、町民カレンダーの作成をしました。すでに退職しましたが、今年も町の皆さんと、撮影会をしながらカレンダー作成のお手伝いをしています。

問 自治会役員など、地域でも活躍されていますね。

中村さん 地域おこし協力隊員の後、3年間介護施設で送迎や清掃の仕事をしていました。その間、地元の自治会の役員を受け、土木・副会長・会長と3年間務めました。



石窯で焼くピザは絶品！
妻の洋子さんの自慢です

その後、大宮七窪神社の氏子総代も受け、今年秋の七久保区三社合同祭では事務局長をすることになってしまいました。

問 今のお仕事は。

中村さん 知人の紹介で、松川町の選果場で働いています。1日が多いときは、1万個の段ボール箱を運び作る作業です。果物の入荷状況で仕事時間は変わりますが、今は1日7時間程度の仕事です。

問 飯島町議会に望むことは。

中村さん 議員さんたちには、できる限り地域で様々な声を聞いていただき、町政に生かしてほしい。今の議員さんの数が多いとは思いません。

ふるさと納税の返礼品は

総務産業委員会は、令和6年度決算案件3件の事業調査・令和7年度補正予算案3件・審査付託を受けた1件の陳情審査を行った。

令和6年度決算

一般会計

◆企画政策課

問 地域力創造プロジェクトを実施したことにより町は損害が出たか。

答 (委員会調査後に) 200万円弱の持ち出しが判明した。

問 公共交通運行路線の見直しは。

答 国交省の『交通空白』解消本部を活用し、今年度中に検討委員会を作り進める。

問 婚活事業の不用額(予算の残り)が多い原因は。

答 大々的なイベントをしなかった。オンライン開催にした。

◆総務課

問 職員健康管理ストレスチェックの結果、高ストレス者は何人か。

答 29名で14%。

問 自転車に乗る外国人が多い。事業所にヘルメット着用などの指導を求めたか。

答 事業所への取り組みを行う。

問 外国人の防災訓練はどうしているか。

答 課題として受け止める。

問 パブリックコメントが事前に知らされていない。

パブリックコメントの周知に関するルールは無いのか。

答 特にない。

問 公式LINEの情報はよい。もっと周知を。

答 わかりました。

問 ホームページに行政手続きの動画掲載をしないのか。

答 動画を流す計画はない。

◆産業振興課

問 遊休荒廃農地解消の利用意向調査の内容は。

答 農業委員がパトロールし、アンケート調査をした。

問 遊休荒廃農地の増減は。

答 若干増加している。

問 越百黄金(減農薬米)の生産割合が年々減っているが。

答 手間がかかり、維持管理が大変などで減っている。

問 物価高騰対策交付金の240件は何割か。

答 500件の約5割が申請。

◆建設水道課

問 北村・柏木の天神松線の荒れた路面工事の予定は。

答 緊急度、優先度を考えて進めていく。

問 老朽化した「本郷ふるさとの味・道の駅」の建て替えは。

答 町内に「道の駅」が他にも2つあり、計画は未定。

問 町営住宅解体後の土地は。

答 民間に払い下げを検討中。

問 耐震診断はしたが補強工事0件はなぜか。

答 補強工事が高額になり補助金だけでは足りないため。

問 役場周辺の土地には特定用途制限区をかけるが、その範囲は。

答 おおよそ、役場周辺の東西は農道から中学校、南北は中学校西から山久秋葉線まで。

問 都市計画等のワークショップで委員会運営等の750万円は何か。

答 コンサルタント料。

問 ウェルシア隣地は建造物の高さ、色など制限できるのか。

答 用途についての制限はできるが、それ以外は景観条例などで規制する。

問 竹林整備補助事業面積の規制はあるか。竹と杉が混在している場所はどうか。金額は。

答 規制は無く面積当たりで補助する。混在箇所は竹の面積だけが対象。

問 新井水路改修計画を具体的に。

答 2号と4号トンネルが素掘りなのでルート変更してコンクリート構造物にする。

問 町有林を売却するところは横沢以外にあるか。

答 高尾上、竹ノ沢などがある。

問 日曽利の圃場整備事業の進捗は。

答 山側を第1換地、低いところが第2換地。現在地権者調査の段階。

問 日曽利の道路は拡幅できないのか。

答 住民から4mへの拡幅要望がある。

問 空き家マップはできているか。

答 システムに落とし管理している。

◆会計課

問 伝票の扱い枚数に波はあるか。

答 月では15日、20日が多い。年間では4月と5月が多い。

問 繁忙期人数は足りたか。

答 4月1人、5月1人補充した。

令和7年度補正予算

一般会計

◆企画政策課

問 ふるさといいじま活性化の返礼品は町としても考えるのか。

答 iiネイチャー宿泊券などを考える。

問 返礼品産地偽造問題があった。産地を把握しているか。

答 基準にのっとり許可を受けている物品(リンゴ、梨)の縛りがある。

問 農業体験は良いが物品に対する基準はあるのか。

答 半額以上が町内産でなくてはならない。

問 町内産の確認方法は。

答 役場職員だけでは確認できないので委託に出してしっかりお互いに確認する。

◆総務課

問 勤怠システムとはなにか。

答 職員の勤務を管理するシステム。

問 打刻機の金額は。

答 リーダー12台端末60万円、プリンター1台50万円。

問 ホームページ再構築選考委員のメンバーは。

答 募集はこれから。庁外で精通している人。

◆産業振興課

問 記念碑修景整備事業とは。

答 山久の記念碑周辺が40年経過し、整備しなおす必要があるため。

問 備品真空包装機に加工グループの負担はあるか。

答 負担はない。

問 輝く農山村委員のメンバーは。

答 農家・県・大学教授・オブザーバーを含め10人。

◆建設水道課

問 地元からの補修などの要望はどのくらいあるか。

答 年間450件。国、県50件、町要望が400件(細かい舗装のひび割れ補修も含め)。

問 道路除草、側溝掃除場所は。

答 広域農道沿い。直営できない箇所を業者に発注。

下水道事業会計

問 カメラ調査による補修箇所は。

答 2か所。

陳情

2024年人事院勧告の寒冷地手当見直しに関わる陳情

提出者：飯島町職員労働組合執行委員長 佐々木勉

内容：国に対し、寒冷地に勤務する地方公共自治体の職員が安心して職務に精励できるよう寒冷地手当の見直しを求める。

賛成5 反対0

保育士が足りない！

社会文教委員会は、令和6年度決算案件4件の事業調査・令和7年度補正案件4件の審査・付託を受けた1件の請願審査を行った。調査・審査の時に出了た主要内容は以下のとおり。

令和6年度決算

一般会計

◆住民税務課

問 リチウムイオン電池の収集場所はどこか。

答 役場西入口。可燃物に入ると火災が発生するので、注意記事を広報・公式LINEに載せている。

現在、収集は広域連合で検討中。

問 自治会未加入者のゴミの協力金は、自治会により違うので同一にできないのか。

答 自治会のあり方検討会で考えたい。

問 一昨年から環境美化運動でオオキンケイギクの除去をしているが、1回では足りない。もう1回増やし、啓発にも努めて欲しいが。

答 開花の頃、株ごと除去し焼却しないと減らないので、場所を特定し集中する。啓発もする。

問 確定申告が電子申告になると職員の仕事量削減になる。機会を捉え電子申告の方法を住民に説明してほしいが。

答 電子申告する人は大変だが、翌年から簡単になる。対応に努める。

問 太陽光発電が農地にできることで、税収がどう変わるか。

答 地目が農地から雑種地に変わり、税額が高くなる。太陽光パネルは償却資産であり、事業者は課税される。個人の屋根上設置には課税されない。

◆健康福祉課

問 引きこもり相談支援事業の相談者の人数は27人。実態はもっと人数が多いと思うが把握は難しいか。

答 50代で扶養されている人の洗い出しをかけたいと思う。また、生活に困窮している人もいる。対象者の把握に取り組みたいが、マンパワーが足りない。学齢期の子どもの引きこもりは教育委員会と連携して対応する。

問 新事業のがん患者へのピアランスケア補助金が3万円では少ない。ウィッグや装具等は高額なので、次年度は予算を増やせないか。

答 足りなければ12月で補正する。来年度は金額を変更する。

問 胃がんの再検査受信率が41.7%である。初期対応することが、医療費や本人負担の軽減になる。うまく再検査に誘導して欲しいが。

答 保健師は至急通知するが、本人はわかっていると落ち着いている。適切な対応に努める。

問 薬物乱用の低年齢化が報道されている。啓発に努めてほしい。

答 中学生には「つばさの会」で薬物乱用・性教育・SOSの出し方などを教えている。これを継続したい。

◆教育委員会

問 中学生のソフトテニス部は頑張っているのに、コートに草が生えていて整備ができてない。

また、防球ネットの高さも低いが。

答 学校から要望がないのでしていない。土曜日は用務員、他は生徒が整備している。現状を見て対応する。

問 コロナ禍で中学生の海外派遣（ネパール行き）はできていない。オーストラリアに変えると報道されたが状況は。

答 退職したALTがオーストラリアに帰国した。12月の半ばに日本に戻る予定であり、協議を計画している。

問 共稼ぎで早朝・延長保育が増えているが、今後の保育士の確保は大丈夫か。

答 現在、年少から年中までの待機児童はいないが未満児の希望は多く、厳しい状況である。保育士を確保すれば園児を受け入れられるわけでもなく、施設の状態もある。保育士とサポーターはいつも募集している。

問 放課後児童健全育成事業で長期休みの児童の状況と支援員の確保は。

答 長期休みは利用日を予約制にしている。しかし予約をしているのに休む児童がいるため、支援員数の割に児童が少ない日もある。多い時で1日40人のキャンセルがあった。

前日のキャンセルでは支援員の調整は難しい。キャンセルはやむを得ないが、保護者は夕方6時半には迎えに来て欲しい。今後ペナルティーを作るか検討中。

問 いいじま文化サロン事業の内容と集客数の多い事業は。

答 100万円の補助金で活動している。宝くじの補助金など、割の良い事業を含めないと運営はできない。藤巻亮太・アニメソング・飯島寄席などだ。生涯学習・社会教育の面と文化館に人を呼ぶ事はイコールでない。指定管理を提案したが、その中で活性化に努めたい。

国民健康保険特別会計

問 今後は県統一の保険料金とされているが、進捗は。統一されて高くなる可能性もある。医療費の高い自治体は下げる努力をしてほしいと町長は訴えて欲しいが。

答 現在、町長が協議会の専門部会に所属し、課長・係長が委員として参加している。県は令和8年度保険事業計画の改定に合わせ、まずは広域単位で検討すると聞いている。国は令和15年度に保険料の県統一を目指し、最終年度は令和18年度。検診グループで実情を訴えたい。

問 特定健康審査等事業で特別交付金は今後もあるのか。

答 保険者努力支援制度で県からの交付金。今までの予防事業でも配点が減ることもある。毎年県から評価項目が来るので、その中で実行計画を作り対応している。これからも頑張りたい。

後期高齢者医療特別会計

問 被保険者数がここ数年増加傾向だが、どこまで増えるのか。

答 団塊世代はそろそろピークを過ぎてきていて、これからは減っていく。

介護保険特別会計

問 介護認定者が急激に増えているが、原因は。

答 人口の多い世代が介護保険適用になった。社会的現象だ。

問 特別介護老人ホームの入所者の待機者はどのくらいか。

答 一般の待機者は40人ほど。認知症の待機者は数名である。

問 基金から1800万円ほどの取り崩しがあり、介護認定者も増えている。介護保険料の改定はあるのか。

答 令和9年度が見直しの時期なので、来年度から検討。

令和7年度補正予算

一般会計

歳入

問 国からの芸術振興費補助金1990万円を返還すると説明があったが、次年度に影響はないか。

答 文化庁は、全国の市町村に文化財保護地域計画の策定を求めている。この計画は単年度ごとの申請となり、断っても申請はできる。

問 人材不足と報告を受けたが、どんな人材が必要なのか。

答 発掘に知識のある人が良いが、一般事務でも構わない。今年度地域おこし協力隊を全国募集したが応募がなかった。

意見 町単独で学術調査員を抱えられないので、広域行政の中で人材確保を考えてはどうか。

歳出

問 戸籍住民基本台帳事務費の37万円の減額は。

答 令和8年5月から戸籍にふりがながつく。住民への確認通知を封書から葉書に変更したため。

問 感染症予防事業の定期予防接種1446万円は。

答 主に带状疱疹だが、他に新型コロナの予防接種不足分も含まれる。

問 飯島小学校管理費委託料1万5千円は学年別行事見学引率とあるが、先生以外が引率するのか。何の旅行で誰が行くのか。

答 旅行の企画を会社に委託する費用。引率は先生が行う。長野社会見学は4年生。臨海学習は5年生。

問 認可保育園運営費で東部保育園の野外用時計が6万円強で高すぎるのでは。

答 屋外の大きな時計で紫外線に強く防水もあり、壁面に貼り付けるため。

請願

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める

提出者：県教職員組合上伊那支部 飯島町単組 やぶはら ひでき 藪原栄樹氏

内容：さらなる少人数学級の推進・複式学級の学級定員の引き下げ・教員基礎定数算出に用いる「係数」の改善を求める。

賛成5 反対0

9月定例会 本会議

9月定例会は、9月5日から18日の会期で、開催。

決算案件6件、予算案件6件、一般案件3件、議員発議2件、請願1件、陳情1件。

最終日に追加上程案件3件、議員発議2件を採択。

町長、町チョウを決める

飯島町の町の蝶を定める決議
町の蝶に「ミヤマシジミ」と決定。



リニア発生土による事業計画

土地改良事業 本郷島河原ほ場整備事業 区画整理11.4ha

費用の概算 6億9000万円
費用負担 東海旅客鉄道株式会社
工事期間 令和7年度～令和14年度

請願

「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・
「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願

討論

反対 必要な人数がわからないので反対する。

賛成 わかりやすい授業をするためには、少人数学級が大事であるので賛成。教員の基礎係数の算出によっては各自治体が必要になる時がある。

賛成 学びは教科書だけでなく、理科や課外授業など体験も大事である。そのための専科の先生を安定して確保するには、国の財源が必要である。

賛成多数で採択

陳情

2024年人事院勧告の寒冷地手当見直しに関わる陳情

討論

賛成 見直しに利用した「メッシュ平均データ」は誤差のあるデータ。実情に合わせた見直しが必要だ。

賛成 長野県は寒く、燃料費が高い。軽々しく減らすべきではない。
賛成多数で採択

条例改正

第16号議案 職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び飯島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

原案可決

第17号議案 令和7年度消防防災施設整備事業に関する物品売買契約（第一分団 車両、2849万円）の締結について

原案可決

第18号議案 飯島町長及び副町長の給与の100分の10減額（町長6万8420円、副町長5万8420円）に関する条例（1ヶ月分）

原案可決

議会全員協議会

8月20日

昭和伊南総合病院の建替え見直し

8月18日の伊南行政組合議会全員協議会において、伊南行政組合より病院建替え計画見直しについて説明があったと、議長より報告。

伊南行政組合は令和2年から昭和伊南総合病院の病院機能を維持・拡充するため、建て替えを構想。令和5年基本計画を策定、設計業務を委託した。新しい場所に本館は地上6階建て、病床数199床、屋上にヘリポート設置の構想だった。その後、建設資材の高騰により、基本計画策定時点で167億円だった建設費が、令和6年11月の見直しで



271億円になった。

また、病院経営も諸物価、人件費上昇で状況が悪化している。これらを受け、建設事業の計画・設計を見直しにする。

これから再検討し、令和11年の開院をめざす。

飯島町、駒ヶ根市、中川村、宮田村の各長連名で、国、県に対し、公立病院の建設・経営に関する支援を要望している。

9月18日

町側から3件の説明があった。

(1)生物多様性アダプト協定（環境共生特定区域の関係者間で結ぶ協定）について

(2)飯島町いきもの調査隊（2025夏）の状況について

(3)信州やまなみ国スポ飯島町実行委員会について

8月22日に設立総会・第1回総会が開催され、役員の選出など開催に向けたスケジュールが決められた。

9月定例会 審議議案と議員の賛否

上程議案・概要・結果　賛成：○　不賛成：×		結 果	池 上 明	坂 本 紀 子	伊 藤 秀 明	宮 下 秀 和	三 浦 寿 美 子	荒 川 み ず さ	折 山 誠	堀 内 学	星 野 晃 伸	浜 田 稔	吉 川 順 平	宮 脇 寛 行	
◎… 賛成多数で原案を可決・認定・採択															
✕… 賛成少数で原案を否決・不認定・不採択															
令和6年度歳入歳出決算認定															注 1
一般会計	60億3,366万円	◎	○	○	○	○	○	○	注 2	○	○	○	○		
国民健康保険特別会計	8億4,519万円	◎	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
後期高齢者医療特別会計	1億8,115万円	◎	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
介護保険特別会計	11億8,152万円	◎	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
水道事業会計	4億2,758万円	◎	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
下水道事業会計	10億8,675万円	◎	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
令和7年度　補正予算															
一般会計(第3号)	1億8,647万円	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
国民健康保険特別会計(第1号)	2,930万円増	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
後期高齢者医療特別会計(第1号)	583万円増	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
介護保険特別会計(第1号)	2,548万円増	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
水道事業会計(第1号)	91万円増	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
下水道事業会計(第1号)	335万円増	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定、締結など															
飯島町の蝶を定める		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
飯島町第6次総合計画改訂版		◎	○	✕	○	✕	✕	✕	○	○	○	✕	○		
土地改良事業計画の概要		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
消防防災施設に関する物品売買契約の締結		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
条例の改定・制定															
職員の勤務時間と育児休業等に関する条例改正		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
町長及び副町長の給与の減給に関する条例		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
町議会委員会条例の一部を改正する条例		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
町議会傍聴規則の一部を改正する条例		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
請願・陳情															
寒冷地手当支給地域の適正化を求める陳情		◎	○	○	✕	○	○	○	○	○	○	○	○		
少人数学級推進・教員増・義務教育の国庫負担拡大を求める請願		◎	○	○	✕	○	○	○	○	○	○	○	○		
意見書															
寒冷地手当支給地域の適正化を求める意見書		◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
少人数学級推進・教員増・義務教育の国庫負担拡充を求める意見書		◎	○	○	✕	○	○	○	○	○	○	○	○		

注1) 議長は議事進行のため賛否表明はしない 注2) 折山議員は監査役のため決算の賛否表明はしない



星野 晃伸

与田切川上流 危機管理

国に、つひつへつに陳情を

国と検討し、
砂防堰堤の除石をしていく
町長

与田切川上流危機管理を問う

問 昨今のゲリラ豪雨等を起因する崩落は、国の当初見込み以上に進んでいると感じる。

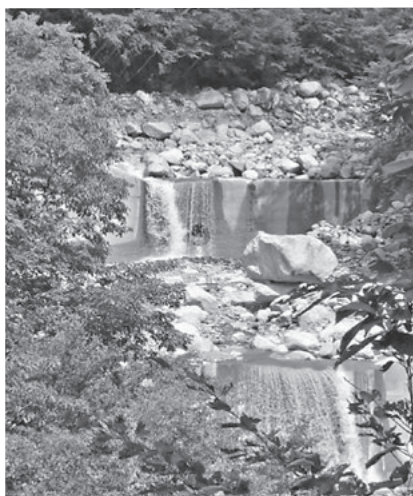
国に対する計画見直しを求めるが。また、砂防堰堤の除石の具体的な計画は。

オンボロ沢で土石流が発生すると与田切川との合流点で自然ダムができ、飯島の飲料水も止まる危険性もある。災害の際に現場に行く道も狭く大型重機が運べない。

国会議員などを通じ国に対し、しつこいくらいの陳情を望む。



与田切川上流にある第2セルダム。巨大な岩が流されて、破壊されたと思われる



与田切川の砂防ダム。7月末時点では写真中央の巨石は上段にあり、8月上旬の雷雨で下段に押し流された



7月末の与田切発電所の取水口



8月下旬の取水口、巨石が何個もある

町長 令和4年に発見された百間ナギのクラックに国・県が速やかに、ヘリなどを飛ばし調査している。砂防堰堤の徐石は国と検討し年1～2万m³を除石している。これからも情報を共有し対応していく。

御座松キャンプ場の運営について

問 キャンプ場使用の町民の許可はどのように取るのか。

副町長 御座松キャンプ場、坊主平キャンプ場はそれぞれの指定管理者に申し込みをしてもらう。

問 自然動物などから利用者を守る対策・事故の賠償の所在は。

副町長 安全対策は、管理者・町・国と分け事故等の対応をする。

与田切公園の再生整備

問 再生整備計画の進捗状況は。

副町長 整備されてから40年、再生計画途中である。

問 50メートルプールをビーチバレーコートとするよう提案するが。

副町長 検討していく。

中学校部活動

問 部活動の社会体育移行の状況とテスト校としての実績は。

教育次長 中学校部活動の休日部活動は社会体育指導員が指導しているが、クラブとして完全に移行しているのは男子バレーボールのみ。

問 県からの補助金と用途は。

教育次長 補助金は国88万6千円、県88万6千円。地域指導員賃金・旅費・保険料となっている。

高速バス停 トイレ

快適で清潔なトイレの設置を

きれいなトイレが
利用できるように検討する 町長



伊藤 秀明

問 高速バス停留所の駐車場トイレはいつ設置したのか。

町長 設置して35年が経つ。

問 汲み取りトイレになっているので、近くのコンビニなどを多くの人が利用していると耳にする。

高速バスの利用者が飯島に来て初めて使う施設だ。飯島町のバス停の駐車場トイレが現在の状態では第一印象が非常に悪い。国スポホッケーの観戦や関係者など、多くの人が利用することになる。

広い待ち合わせ場所のある快適で清潔なトイレの設置を早急に強く希望する。

総務課長 現在の高速バスのトイレや待合については検討したい。

問 町長はどう考えるか。

町長 道の駅でもそうだが、観光地はトイレが最優先だ。観光客、町内外の人にきれいなトイレが利用できるように検討する。



駐車場のトイレ。いつもきれいに掃除されているが…

エコープ飯島店

問 その後の進捗は。

町長 大きな進展はないが精力的に進めている。

自治会役員なり手不足

問 高齢者役員の作業負担軽減を。

町長 自治会と協働して、持続可能な地域コミュニティを作るための対策を進めたいと考えている。

ウエルシア隣地の活用

問 その後の進捗は。

産業振興課長 大きな進展はない。

JR飯島駅舎

問 今後どうするのか。

副町長 住民の利便性、地域経済の活性化に取り組み、理解と協力を得ながら進める。

RSウイルス感染症

問 RSウイルス感染症およびワクチンの対応は。

健康福祉課長 国、自治体の動向を見て判断する。

(注) RSウイルス感染症とはRSウイルスの感染による急性の呼吸器感染症で、乳幼児に多い感染症です。RSウイルスは年齢を問わず何度も感染

を繰り返しますが、初回感染時には、より重症化しやすいといわれており、特に生後6ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎など重症化することがあります。

生後1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が少なくとも一度は感染する、とされています。

(厚労省ホームページから)

ICT教育

問 ICT(情報通信技術)を活用して行う教育の現状と課題は。

教育長 ICTとアナログの良さを組み合わせ、教職員の声を聴きながら取り組む。

災害時のトイレ

問 トイレトレーラーの設置を求める。

総務課長 水を利用しないパック式の移動設置型トイレを導入できればと考えている。



トイレカー



吉川 順平

コメ増産

飯島町の考えは

農家の声を聞き、関係する
団体と増産に取り組む

町長

コメ増産への転換

問 町は減反政策(水稻生産調整)をどう見直すか。

町長 米政策が転換期を迎えている。JA、関係する団体と情報共有しながら、農家の声を聞いて、営農センター・農業再生



稲刈り

協議会を中心に、米生産の増産に取り組む。

問 再生産できる価格の確保が大前提だ。生産者を大切にしたい農政を求めるが。

町長 再生産できる価格は、異常気象や資材の高騰など、過酷な状況下で農業を続け、農畜産物を安定供給するための対価である。

消費者への農業の理解も併せて、生産者が意欲を持って農業を続けられる食料供給体制を目指すことが重要。

町では、国の制度や支援対策等の情報を把握し、生産者の声を聞いて対応する。

町は「輝く農山村プロジェクト」に3年間取り組み、持続可能な農業にしていきたい。



荒廃農地

農業の課題について

問 荒廃農地の実態は。

産業振興課長 飯島町は県内でも少ない。今後も、荒廃農地の発生防止、農地の有効利用・活用に取り組む。

農福連携

問 農福連携の取り組みの実態は。

町長 地域の自立支援事業者とも連携して、作業を依頼している農業関係者は3者。地域自立支援事業者から25名の参加。



農福連携

障がいを持つ人が様々な人々と繋がり、社会参画していくことが重要。

観光振興

問 町長の「歩きたくなる街」の考えは。

町長 街歩きとは、地域の町並みや文化、歴史・自然・隠れた魅力を発見、体験する活動。空き家の修景整備と個店の連携により個々の商店や名跡を巡る、歩きたくなる街を町内に設けていく。



街歩き

問 海外旅行者の実態は。

町長 徐々に観光客数は伸びている。アジア系の人の来訪が多い傾向。

飯島町を訪れる外国の旅行者に受入れられる環境整備など適切な地域づくりも必要。

消防団支援

実態に合わせた定数を

あくまでも目安である 町長



堀内 学

問 第6次総合計画では令和12年の定員を250人と定めている。維持をするための施策は。

町長 定員は一つの目安として、消防団活動環境づくりを各事業所の理解を得ながら取り組んでいく。

問 消防団に入りたいと思えるような意識変化が必要ではないか。

町長 子どもの頃から地域の課題に触れる機会を増やしていくことが重要だと考える。

問 40歳を超える団員の増加や幽霊団員の対応をどうするのか。

町長 在籍年数の長期化は重く受け止めている。定員は、あくまで町が維持する消防力の目安であり、定員確保に現役団員の負担を過度に増やしてはいけない。幽霊団員を含めて団員が参加しやすい取り組みを検討する。

問 団員の待機する詰所のほとんどが汲み取りトイレで、若者や女性を受け入れる環境が整っていない。水洗化の工事を優先して取り組むべきではないか。

副町長 幹部会からエアコンの設置を要望されている。トイレの状態も承知をしているので、幹部会と検討する。

子どもの教育環境

問 現状の学童クラブの環境と課題はなにか。第3の居場所の運用で解決するのか。

教育次長 利用者が毎年10%程度増加しているため支援員の確保に苦慮している。

教育長 長期休み時に当日にキャンセルをする子どもが30人から40人いる。苦労して支援員を確保しても、予約している子どもが来ないことが一番の課題となっている。高学年も来るようになったので人数が増えて、新しい施設と併用することで解決できる部分が多い。

問 下校後すぐにグラウンドで遊ぶことができないのはなぜか。

教育次長 下校後は教職員による安全管理が困難である。保護者が把握していない場所で遅くまで遊んでいると家庭でも心配になる。不審者や誘拐などの犯罪に巻き込まれる可能性がある。

教育長 子どもの下校後の遊びは大事であると認識している。しかし、今は学校を出て家に帰るまでが学校の責任になってしまう。子どもの遊びという観点から保護者と検討をしていく必要がある。



飯小グラウンド。子どもの成長の機会がたくさん。



荒川みずき

誰もが 住みやすい町

町営住宅や空き家の活用を

広く活用を検討していく

町長

問 町営住宅（陣馬・北梅戸・上通り）に入居する際、若者世代の単身者は認められていないのか。

町長 公営住宅法第23条に基づき入居資格が定められており、若者世代の独身者でも条件に該当すれば入居可能である。

問 どの町営住宅も入居者の高齢化が進み、役員のなり手不足が緊急の課題となっているが。

町長 各自治会で深刻な課題と認識しており、町としても対応を検討する組織を立ち上げる。

問 町のお試し住宅は6泊7日までだが、実際に暮らしを体験するには短い。町営住宅の空き

部屋を移住前のお試し住宅に活用できないか。

建設水道課長 町営住宅は生活困窮者用住宅であり、公営住宅法の趣旨と異なるため定住促進には利用できない。

問 国の法律を理解した上で、町独自に条例を設け活用する工夫もできるのでは。

副町長 公営住宅では難しいが、空き家を活用した形で応えていくことは可能であり、企画政策課とも連携し検討したい。

町営住宅の修理は

問 町営住宅117戸のうち82戸が入居中で、年間約50件の修繕依頼がある。陣馬・北梅戸・上通り住宅は国の耐震基準の築45年を経過し、雨漏りやシロアリ被害も出ている。対応は。

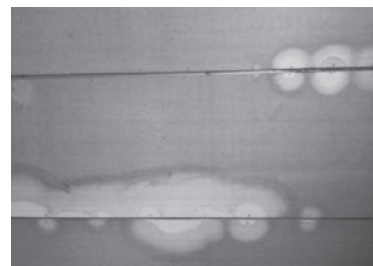
建設水道課長 長寿命化計画に基づき豊岡・舟久保・陣馬から改修に着手しており、北梅戸・上通りも具体的な計画を検討中である。



急な傾斜の階段。小さな子どもやお年寄りには危険。



浴室床はコンクリートむき出し。建設当初から今も入居者が自分で、風呂釜を持ち込む。



一箇所を直しても次から次へと雨漏りする。

移住者の子育て環境

問 保育園や小中学校の行事や会合などが祖父母の存在を前提にしていると感じる。核家族世帯の移住者に配慮した運営を提案するが。

教育長 様々な家庭状況を想定し、移住者の生の声も反映しながら、時代に沿った行事運営を検討していく必要性を感じている。

移住前後の町の対応

問 移住者は理想と現実の差から町を去るケースもある。移住前後の町の対応は。

企画政策課長 担当2人で対応している。移住前は先輩移住者や地域のキーパーソンを紹介し交流を促す。移住後は自治会との懇談やゴミ出しなど生活ルールの説明、また時には就労相談まで幅広く支援している。

問 先輩移住者やキーパーソンはどのように人選しているのか。

企画政策課長 担当者が直接依頼する場合もあるが、「いいじま大縁会」などの交流の場で自然につながるケースも多い。

問 町を介さず住民とのつながりで移住してくる人も増えている。そうした方へのフォローは。

企画政策課長 町からの働きかけは難しいが、地域住民から情報共有があればフォローしやすくなる。

多文化
共生社会

外国籍住民への対応は

だれもが尊厳をもって暮らせる
環境づくりにつとめる 町長

宮下 秀和

外国籍住民と
多文化共生社会へ

問 地域社会での外国籍住民の役割は。

町長 飯島町のような中山間地の自治体は、人口減少、また高齢化が強まる中、産業の発展と福祉事業の維持を図っていくためには、外国籍の住民の方を含む多様な人材の確保、定住といったことが重要になっている。

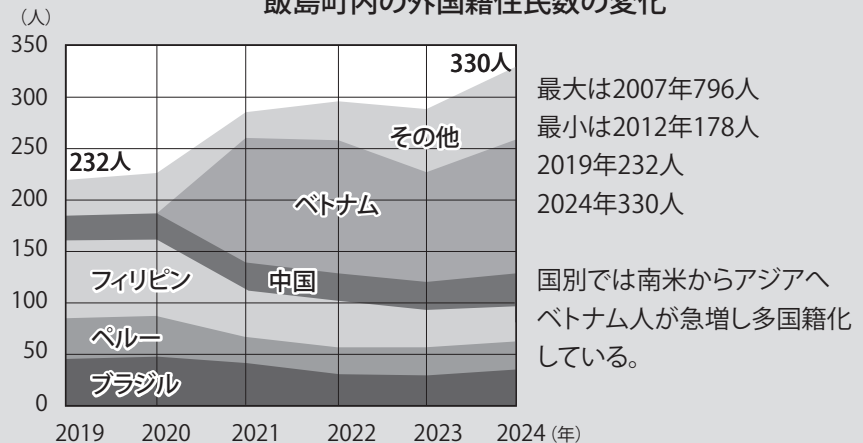
花卉栽培農家で働く
インドネシア人女性

多様性を尊重するまちづくり、内外の人材を活用した産業の創出、持続可能な行政サービスの提供は重要な取組みになる。

問 飯島町の第6次総合計画改訂版に外国人との多文化共生の言及がないが。

企画政策課長 第6次総合計画の改訂版には多文化共生社会に関する明確な記載はない。しかし、町は令和3年4月に策定した「飯島町多文化共生社会の形成に係る指針」に基づき取り組んでいる。

飯島町内の外国籍住民数の変化



問 外国籍住民向けの日本語教室の支援をやっているか。

企画政策課長 日本語教室は地域団体の「地球人ネットワーク in いいじま」が取り組んでいる。今年度から町も後援し、日本語教師への謝礼・参加者の募集・テキストの準備・消耗品類の購入・各種調整を行っている。

問 外国籍住民に対する役場窓口の対応は。

総務課長 町職員は適宜、翻訳アプリを活用して対応している。「やさしい日本語」による説明や「視覚に配慮した」情報提供など、サービスの質を総合的に高める取組みを行いたい。

問 外国人に関するデマへの町の対応は。

町長 外国人に関するデマ情報の拡散は、理由なく外国人を差別・排除する風潮を生み出すお

それがある。

デマ情報の放置は、町民の安心・安全も損ない、人権の尊重と多様性という公共理念にも反する。

行政として、対立をあおるのではなく、共生を前提とした情報の充実を基本に、情報の信頼性を高める取組みを進める。

国籍を問わず、誰もが尊厳を持って暮らせる環境づくりに努めたい。

土地開発業者への対応

問 七久保区北村小段に「キャンプ場」を開発している業者との「環境保全協定」は。

町長 事業者・町・七久保区・北村自治会の4者で9月5日に締結、調印した。町も監視しながら進めるが、地元としても対応を願いたい。



池上 明

町の魅力の発信

町民と協議し
将来のまちづくりを進める

魅力を内外に発信する
町づくりを

町長

JR飯島駅前の活性化

問 エーコープ飯島閉店後の買い物弱者対策は。

町長 エーコープ飯島閉店後は、商業事業者誘致に努力をしている。また、移動販売車の活用・買物支援策・タクシー券の発行を実施している。

問 飯島駅周辺に賑わいをとるもどすには。

町長 飯島駅前への大規模投資には課題があるものの、町民と協議し将来のまちづくりを進め

る。



飯島駅前を飾るドーム菊

JR七久保駅舎

問 七久保駅の駅舎解体とトイレ改修の進捗状況は。

副町長 乗客数減少や駅舎老朽化を踏まえ、JR東海と協議の上、駅舎をスリム化する。現在のトイレは撤去し、町が新設する。

問 地域の思い出や財産として駅舎を残したいとの意見もあるが。

副町長 駅舎は大正7年に開業した。雨漏りがしており、JRは直す余地がないと判断した。維持は困難だ。



百年以上使われている七久保駅舎



陣屋を飾るドーム菊



飯島駅前のイルミネーション

太陽熱温水器

補助の充実で普及促進を

国産の産業育成のためにも、
見直しを進めたい 町長



浜田 稔

脱炭素の推進策

問 4人家族を想定して調べた。太陽光発電の補助率は約17%。真空管式太陽熱温水器の実質補助率は8%ほどと不公平だ。

また国内の太陽光パネルは発電過剰で、電力会社はしばしば買入を抑制している。町の計画は太陽熱利用には消極的だ。太陽熱温水器の普及促進を求めるが。

町長 町内企業を含む国産の産業育成のためにも、太陽熱利用の見直しを進めたい。

事業の民間委託

問 地域力創造推進プロジェクトで空き家活用を進める事業が外部委託された。しかし成果が出ないまま終わったのではないか。

町長 空き家地図や対策案は作成されたが望んだ成果には至らなかった。

問 与田切公園が町外事業者に委託されてから数年を経た。行政報告書は観光目的の記述だけで、町民の憩いの場・親水公園

としての報告が全然見えてこないが。

産業振興課長 町民の利用状況は決して高くない。町民の意見を聴き、より親しみやすく利用してもらえる公園になるよう努める。

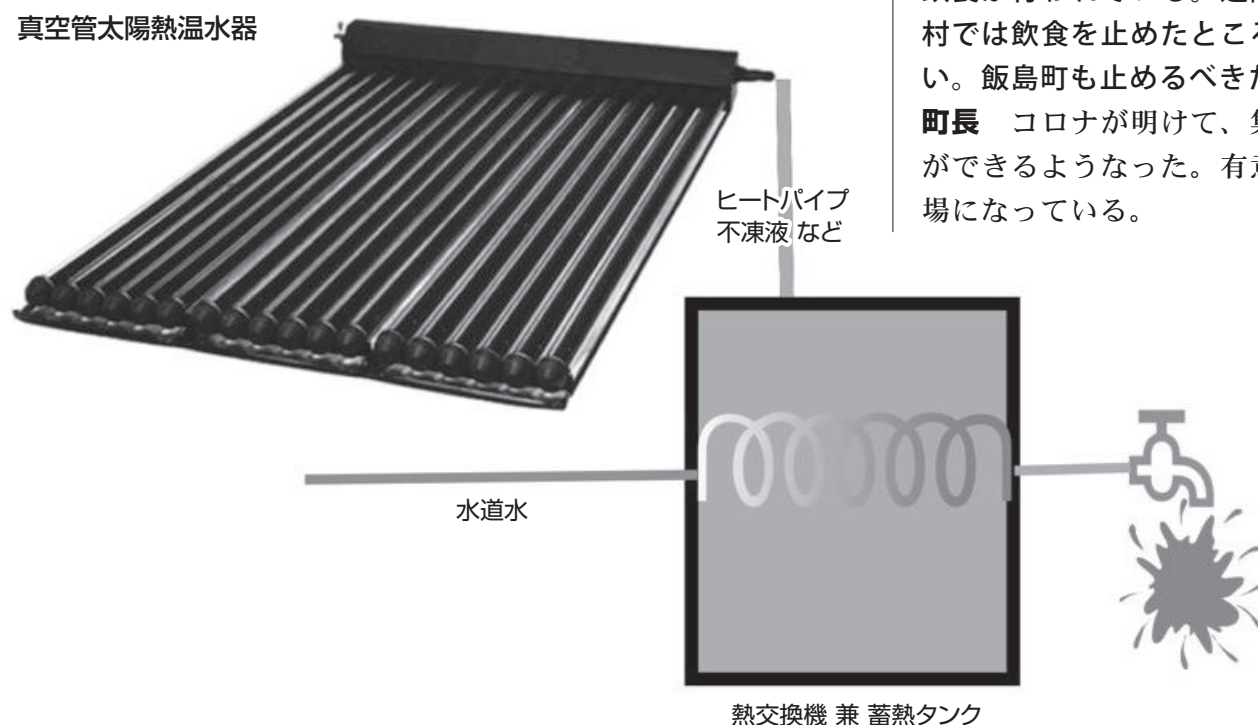
問 中央公民館の再開を考えていないという副町長発言の真意は。

副町長 中央公民館のあった頃の社会教育活動はとても充実していた。しかし時代と共に担い手が減った。業者に指定管理しても、町は深く関わりを持ちたい。

問 各種期成同盟会の総会後に飲食が行われている。近隣市町村では飲食を止めたところが多い。飯島町も止めるべきだ。

町長 コロナが明けて、集まりができるようになった。有意義な場になっている。

真空管太陽熱温水器





坂本 紀子

AI(人工知能)と行政

チャットGPT利用のルールは

国のAI利活用 ガイドラインに準拠 町長

問 AIは世界で利用者が増えていて、不適切な発言や情報拡散のリスク・著作権のリスクがある。AIに対する町長の所見は。

町長 人間を超えた知能のAIが世の中に広がることに危機感がある。あらゆる分野で業務の効率化や課題解決に貢献するが、あくまでもツールで有益にも有害にもなる。可能性は非常に大きい。

問 厳しいEUのAI法と日本の緩いAI法があるが、町長の所見は。

町長 EUのAI法はリスクを重視し、基本的人権や安全の保護

を優先した規制で罰則規定もある。

日本のAI法はAIの研究開発と活用の推進を目指し、AIがもたらすリスクに対応し、基本的なルールを定めた法律で理念的である。

問 チャットGPTの特徴は情報が事実か否かより、単語が出現する頻度や関連性により文章を作成するため、真偽不明な情報が含まれる事がある。

国ではチャットGPTを使い、行政の効率化を進めようとしている。町では無料のアプリが全職員のパソコンに導入されたが、問題は起きてないか。

企画政策課長 無料の「行政AIマサルくん」のウェブサービスを利用。全国626自治体が利用登録していて、公務員専用で高い正確性と安全性がある。令和5年度の半年間の調査で、1度だけ利用が1割、複数回利用は1割に満たない。文章の作成や条例・規則の作成など行政文書に特化した限定的な利用で、問題は出ていない。

問 当町のガイドラインと今後の活用は。

企画政策課長 国のAI利活用ガイドラインに準拠し、個人情報を入力禁止や出力結果の複数人確認を厳守する。今後デジタル化が進む行政では、専門的な知識が必要なのでリスク対策をし、外部の講習、知識のある職員の内部研修など行い人材育成をする。

(注) チャットGPTは、アメリカのオープンAI社が開発した対話型のAI(人工知能)で、人間の知性・行動をコンピューターで模倣させる技術で生成AIのモデルの1つ。人間とコンピューター間でテキストや音声を通じて会話を行う自動応答のサービス。

デマンドタクシー・チョイソコの導入は

問 いいちゃんバスの稼働日数と1日あたりの利用者数、事業費と補助金額は。

企画政策課長 いいちゃんバスは土日・祝祭日・お盆・年末年始は運休。昨年の稼働日数は240日。地域線と病院線の乗車人数は2568人で昨年より406人減。1日あたり10.7人。

年間運行経費は約1520万円で運賃収入は43万3千円。赤字の1476万7千円に国の特別交付税措置が827万7千円。

問 チョイソコの導入は全国80カ所で、県内は佐久市・諏訪市・松川町・中川村。導入を求めるが、今後の対応は。

町長 地域公共交通計画の策定は、従来の公共交通などを活用し既存の民間事業者による送迎・物流サービス等の地域の多様な運送資源を活用し、利用者が使いやすい交通サービスを目指す。

事業の位置づけが明確化し、予算化や国庫補助金申請・交通事業者との協議・住民への説明ができる。この中で、具体的な将来の姿を検討したい。



JR 飯島駅前から駒ヶ根市の昭和伊南総合病院へ向かう「いいちゃんバス」

七久保診療所 再開

荒れた建物からは 再開の熱意が伝わらない

診療所施設管理を 大切に行うよう努める 町長



折山 誠

七久保診療所再開

問 診療所併設の医師住宅は、壊れた塀が撤去されたが、庭には草が伸び放題、障子は破れた状態だ。

真剣に診療所再開に努力されているように思えないが。

副町長 平成7年の建築で古くなっている。再開には建て直すか、再整備しなければならない。

問 町長は任期中に実現できるように努めると公約している。管理もしないで、建て替えるなど町の財政力では考えられない。町民の大切な行政財産をきちんと管理し、いつ医師がきてもすぐ再開できるように努められたい。

町長 誰が来ても、どんな方法で使うにしても、使えるような状況で管理をしていく。

会計年度任用職員の処遇は

問 会計年度任用職員は、非正規でありながら正規職員と変わらない行政サービスを住民から求められる。守秘義務など公務員法の適用も受けている。同一労働同一賃金は国の方針だ。

町は地域の先頭に立って大幅な処遇改善をすすめるべきでは。

副町長 行政サービスを安定的に提供するために、同一労働同一賃金を目標として会計年度任用職員の適正な報酬額の決定に努めていく。

子育て環境の改善を

問 小中学校の不登校児童・生徒数は。

教育長 前年度は小学校8人、中学校23人という状況。

問 町内の井戸端会議で中学の不登校が30人という話題で、一時騒然とした。

そんな中、スマホの使用時間を制限する市条例が報道された。不登校の要因をどのように分析し対応しているか。スマホ使用時間制限条例をどのように考えるか。

教育長 不登校の原因は一律に断定できない。家庭環境・学習の困難さ・学校のシステムになじめない・保護者の考え方など、一律の対応が出来ず苦慮していることが実情。

スマホについては見ている時間が多いと感じる。

町長 不登校の要因は多様化している。私としては、スマホ使用時間について、ある程度の制限は必要と思う。条例については参考に検討したい。

問 当町では少子化が進む中で、小学校の統合や複式学級、小中一貫校、こうした会話が住民間で行われるようになってきた。地域の学校を守るために小規模特認校や山村留学などを視野に入れたことはあるか。

教育長 今後の検討課題ではあると考えるが、通学区域の在り方も検討しなければと感じている。



荒れ放題の診療所。再開の熱意が地域に伝わらない



三浦 寿美子

松枯れ対策

実態に対して
処理費用が不足では

国・県の補助が非常に少ない
町長

問 西山に松枯れが目立つ。松枯れの処理費用は当初62万円、今回補正で30万円である。実態に対して全く不足している。放置しておくことの弊害は。



松枯れ

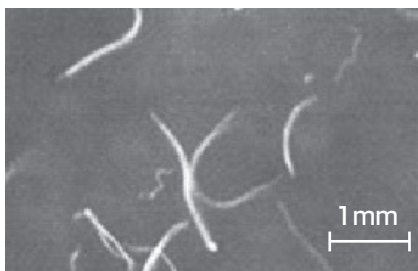
町長 町内の森林面積は6,329haで町の面積の4分の1であり、751haがアカマツ林であ

る。平成12年に松枯れ被害を確認した。放置することで被害が拡大し、景観の悪化・倒木・枝の落下・道路や電線などライフラインの影響・事故の恐れなど、森林の多面的機能を失う恐れがある。

対策を講じたいが、今は国・県の補助が非常に少ない。上伊那森林組合も経営的に厳しい状況で処理ができなくなった。国には、松枯れ対策の予算増額を求めている。



マツノマダラカミキリ



マツノザイセンチュウ

問 具体的にどのような対策を行なっているか。

産業振興課長 被害木は適切な時期と方法で処理をしないと被害が拡大する。被害木からカミキリムシが出る前に伐採し、破碎する機械で細かくチップ化している。運び出せないところはシートに包み燻蒸処理をしている。

問 民有地の危険木の処理は。

産業振興課長 所有者に伐採してもらうことが基本だが、電線や道路への影響など、事故につながりかねない危険木は町で判断し対応する。



道路に枝が落ちそうな危険木

生物多様性

問 営農センターの「1000ha自然共生農場基本計画書」に生き物調査リストがある。生物多様性保護の視点で、毎年行なっている「生き物調査」の記録を整理、現状を把握して、後世へ残す必要があるが。

町長 毎年調査員に委託し生き物調査をしている。生物多様性を生かした農業の基礎に、実績を整理しデータベース化していく必要がある。

来年度、生物多様性飯島戦略を策定予定。町民に身のまわりの動植物を把握しながら暮らしてもらうことが重要で、住民参加型の調査を進めている。

スーパー誘致

問 全国には、飯島のように突然スーパーが閉店し、困っている住民たちが自分たちで出資してスーパーを運営しているところもある。

全国の取り組み事例を参考に、住民と一緒にスーパー誘致の可能性を追求してはどうか。

町長 住民と話し合いをしながら、課題解決に取り組みたい。

中部伊那町村議会協議会研修会

8月26日、松川町中央公民館で、中部伊那議会協議会研修会が開催された。この研修会は、飯島町・中川村・松川町・大鹿村という隣接する4町村の議会議員と町村の理事者が一堂に会し、共通する地域課題や今後の方向性について意見を交わす場。

当日は各町村から現状報告や取り組みの紹介があり、活発な議論が行われた。



飯島町議会からの提案を説明する三浦議員

飯島町議会からは、①議員のなり手不足をどう解消していくか、②外来植物の駆除活動への取り組みについて提案した。

これらの問題は飯島町だけでなく、周辺の町村にも共通する重要課題であり、単独での解決は



全体会であいさつする飯島町議会の宮協議長＝8月26日、松川町

困難だ。そのため、今回のように4町村が一堂に会して率直に意見交換ができたことは、大変有意義だった。

また、他町村からも協力体制の必要性が強調された。

中川村からは具体例として、「チョイソコ（オンデマンドバス）」が現在、通学時に飯島駅まで運行している。昭和伊南総合病院まで結ぶ飯島町の「いいちゃんバス」と連携できれば、地域住民にとってさらに利便性が高まるのではないか、と提案があった。



交通問題などのテーマで討論する各町村議員。左手前は星野議員、左端は折山議員、右端から4人目は片桐教育長

交通や環境、議会運営といった課題は、一町村だけでは抱えきれない時代に来ている。今後も広域的な視点を持ち、垣根を越えた協力を深めていくことが、持続可能な地域づくりにつながると改めて確認できた研修会だった。（荒川議員記）

長野県町村議会議長会議員研修会

松本市で7月14日に開催。全議員が参加。

広報委員会研修報告

広報委員6名は、8月28日に東京渋谷区で行われた「町村議会広報研修会」に参加。

3名の講師から話を聞いた。最初の講座は、広報紙にインタビュー記事を書ける工夫。人の思いやエピソードが加わることで、ぐっと身近に感じてもらえることが分かり、とても参考になった。

次の講座は、スマートフォンを使った撮影や動画づくりの基本。難しい機材がなくても工夫次第で分かりやすく伝えられることを知った。

最後の講座は、広報を通じて住民の政治参加を後押しできるという視点を聞き、広報の役割の大きさを改めて感じた。（荒川議員記）

まちびと政策プランナー会議メンバー募集

1. 趣旨

将来にわたり持続可能な飯島町としていくために、若者から高齢者まで自分事として考え、行動しなければなりません。

町民の各年代の交流を図りながら、誰もが意見を言い合える「まち」を目指します。議員もサポートとして参加します。

2. テーマ

「飯島駅周辺の再整備計画」

3. 募集要件

- ・中学生以上の飯島町在住または在勤の方を20名
- ・実施期間は令和8年1月中旬から2月中旬までの期間で最大4回
- ・実施日は基本的に土曜日または日曜日

4. 募集期限

11月30日(日)まで。応募された方には、12月上旬にメールでご連絡を致します。

5. 留意事項

- ・人の意見を批判や反対をせず、誰もが話しやすい環境づくりにご協力ください。
- ・議会活動の一部として活動するため、議会やマスコミの取材も予想されます。

6. お申し込みは議会事務局へ



町議会議員と 各自治会が抱える課題について 協議をしませんか（住民懇談会）

- ▶ 議員がお伺いし、地域の課題を話し合い、現場視察を行います。
- ▶ 町に状況を伝え、解決に向けて協議します。結果は回答いたします。
これまで、赤坂自治会から道路わきの支障木などについて、新屋敷自治会から冬季の道路除雪について、など協議しました。
- ▶ 随時募集しています。
各自治会の課題を議会事務局までお寄せください。

お問い合わせは…

電話：0265-86-3111 FAX：0265-86-4395

Eメール：iijima-gikai@cek.ne.jp 議会事務局：那須野、眞弓

いいまち 議会だより モニターのひとこと

令和7年7月発行の第111号 広報紙面に対するご意見

表紙

- ・「手に取ってみたい」と思わせる表紙になっている。
- ・大見出しが中央に黄色で表示されているので注目すべき内容が一目でわかる。
- ・テーマと写真があまりマッチしていない感じがした。

特集

- ・地域おこし協力隊の方のその後の活躍について知れて良かった。
- ・移住してきた人が町に定着して活躍している事例の紹介はよいと思う。
- ・健康寿命はとても大切なので素晴らしい活動だと思った。これからも飯島町で頑張ってもらいたい。
- ・木本さんが訴えたい内容を太字や囲みで見せたほうが良い。
- ・「新議員の思い」のスペースをもっと取れば良かった。
- ・「町民の声を議会へ」のテーマを大きく取り上げてほしい。
- ・ヤーコンのことは名前くらいしか知らない。地域定着させるなら、もっとPRしないとだめだ。

各委員会・本会議

- ・この部分が一番大事だと思い、しっかり目を通した。
- ・「カリキュラムオーバー」の請願は、委員会では不採択で、本会議では採択された。本会議の論議がどうだったのかが気になる。
- ・飯島体育館屋根幕の改修工事費900万円は高額だが、町民が安全に体育館を使用できるよう進めてほしい。
- ・議会広報委員会の「改善案」には賛成です。
- ・コンパクトシティ化と、既存施設と駅周辺への機能集約（買物医療、行政機関、文化機関）等について、全委員で同じテーマについて議論しては。

一般質問

- ・議員一人が1ページで、質問内容と議員の問題意識がわかる。
- ・写真や資料があり、理解の助けになるが、質問や討論の中身が十分に伝わってこない。
- ・写真も分かりやすいが、それでページが満たさないことを望む。
- ・飯島町は子どもが遊べる公園が少ないので、ふれあい公園の具体的な内容を示してほしいです。

- ・エーコープ跡地の活用は悩ましい。特に近隣住民には大きな関心がある。
- ・エーコープの閉店について多数の質問があるのは良いが、1つのことに関心が集まり過ぎるのは心配。
- ・エーコープ閉店後のことに関する質問が重複している。
- ・議員の質問も、町当局の答弁も、町民の意思を尊重し、安全で安心なより良い暮らしと幸せを願って行っているのか疑問。

全体を通して

- ・「傍聴のときの名前や住所を書くのはなぜ？」で、「安全確保と緊急時の対応、忘れ物などの返却などのために必要」とは納得いかない。
- ・駅前活性化と町長が想定しているコンパクトシティの両立は難しそうですが、頑張ってもらいたい。
- ・地域活性化は飯島地区だけでなく、他地区にも目を向けてほしい。
- ・町民の声を聴き、町民に開かれた議会を作ってください。
- ・新議員の方々を含め、日々のご苦勞をお察しします。

町民の声を議会へ

共に生きる

飯島町で暮らす外国人の日本語学習支援ボランティア「地球人ネットワークinいいじま」は、駒ヶ根市で長年幅広く活動されている「地球人ネットワークinこまがね」のご支援、ご協力を得て、2023年5月にボランティア団体として発足しました。飯島町（近隣市町村）に住んでいる外国籍の方々が「安全に安心してそして楽しく飯島町で暮らしていける」お手伝いをしたいと思って活動しています。

日本語学習と、地域との交流

私達は「日本語学習のお手伝い」「地域との交流」を2本の柱として活動を行っています。



「日本語学習のお手伝い」は毎週日曜日、七久保林業センターで日本語学習支援を行っています（写真上）。通常は、ボランティアが学習者（外国人）の学習サポートをしますが、今年は7

月から飯島町のご支援を頂き日本語教師を招いて「いいじま日本語教室」を開いています。「まちを知る」「健康にくらす」「安全にくらす（防災）（交通安全）」という内容をテーマに、病院に行く（写真下）、防災を学ぶ、自転車の乗り方を学ぶなど、実際の生活に役立つことも勉強してもらっています。



「地域との交流」は、昨年はりりん祭りに浴衣を着て参加しました。ランチ会、餅つき、クリスマス会などでは学習者に自国の料理を作ってもらいボランティアの皆さんと楽しく過ごしました。その他、習字のミニ講座、マレットゴルフ等も楽しみました。

このページは町民の皆様取材協力をお願いして、町政や議会への意見や感想を掲載しています。今回は、「地球人ネットワークinいいじま」の木村香代子さんに登場していただきました。



◀日本語のテキスト

交流イベントはまだまだ十分とは言えませんが、より多くの場で地元の方と交流して、互いの文化、違いを尊重しつつこの飯島町で「共に生きる」大切さを実感していただけたらと思っています。

外国の方と友達になりたい人募集

私たちの活動は学習者もボランティアも少ないのが現状です。より多くの方に参加していただきたいです。ボランティアは語学力など必要ありません。年齢も関係ありません。縁あって飯島町で共に暮らしている外国の方とお友達になりたい、日本語学習のお手伝いをしたいという方ならどなたでも歓迎です。どうぞ、お気軽にご参加ください。

町や議会に望むこと

議員さんにも是非ボランティアで教室に参加してください。多文化共生の大切さを肌で感じていただけたら幸いです。

議会だより



《問題》

飯島町の
循環バスの愛称は？

ヒントは18ページ

正解者5名様にいいちゃん商品券進呈

（締切は11/30、発表は発送をもってかえさせていただきます）

応募要項

住所・氏名・年齢・解答とご意見など
をご記入のうえ、いいちゃんポスト・
QRコードで、飯島町議会事務局
議会だよりクイズ係宛まで



発行責任者／議長 宮脇 寛行

編集委員／◎浜田・○宮下・池上・三浦・荒川・星野

あなたの声を議会だより ☎0265(86)3111 内線230 FAX.86-4395 E-mail: iijima-gikai@cek.ne.jp

いいじままち 議会だより 112号